

## 日本口腔保健学雑誌 投稿規程

### 1. 目的

本誌は、口腔保健学、歯科技工学、歯科医療技術などに関連する研究ならびに教育の成果について発表することを目的とする。

### 2. 投稿資格

論文筆頭者は、歯科技工士・歯科衛生士の養成機関に所属する者（在籍学生を含む）、または当該機関を卒業・修了した者とする。ただし、雑誌編集委員会が認める者、または雑誌編集委員会が原稿を依頼した者はこの限りではない。

### 3. 論文の種類

- 1) 本誌への投稿は原則として、次の分類に基づき受け付ける。
  - (1) 原著論文：新規性・独創性に富む研究成果に関するもの
  - (2) 総説：口腔保健学、歯科技工学、歯科医療技術などに関する争点を整理して今後の方向性を示唆しようとするもの、あるいは既発表論文の内容をまとめて新たな概念を提唱しようとするもの
  - (3) 臨床・症例報告：広く歯科医療の実践と発展に有用な臨床の記録
  - (4) 調査研究：明確な目的を設定し、妥当性に長けた手法によって調査し、客観性・再現性ある成果としてまとめたもの
  - (5) 教育報告：教育に関する成果を示したもの、あるいは教育に有効な目的・方略・評価についてまとめたものなど5種に分類する。なお、総説は原則として雑誌編集委員会からの依頼によるものとする。
- 2) 論文は、他誌に未発表のものに限る。
- 3) 論文は、日本語で簡潔に記述されたものとする。
- 4) 原著論文の形式は、原則として表紙、内容要旨、緒言、材料および方法（または、対象および方法）、結果、考察、結論、文献、英文抄録（Abstract）、図・表、付図・付表説明の順に記載する。原著論文以外の論文も、原則としてこれに準ずる。

### 4. 論文の投稿、採否および掲載順序

- 1) 「論文投稿票」は、最新のものをを用いて必要事項を記載し、「共著者承諾書」には、論文表題の記載を経て筆頭著者氏名・共著者氏名を自署・押印する。また、所属機関の様式に基づく「利益相反自己申告書」に必要事項を記載し、自署・押印する。さらに「投稿前セルフチェック票」に必要事項を記載し、各項目についてチェックする。これら4種書類をPDF化し、論文原稿と共に提出する。
- 2) 論文投稿は、電子投稿（E-mail）とする。電子投稿（E-mail）が困難な場合は、すべてのデータを取めたCD-ROMを郵送によって提出する。
- 3) 投稿論文の採否は、複数の査読者による見解に基づき雑誌編集委員会によって決定する。
- 4) 投稿論文は、雑誌編集委員会の協議を経て、加筆・修正などを求めることがある。加筆・修正などを求められた論文は、指定された期日までに再提出する。
- 5) 論文受付日は、原稿を含むすべてのデータが雑誌編集委員会に到着した日付とする。また、受理日は、雑誌編集委員会によって採択と判定した日付とする。
- 6) 投稿論文の掲載順序は、受理順とする。
- 7) 提出された原稿データは、返却しない。

### 5. 発行、受付締切日時

本誌の発行は、原則として毎年12月に行う。また、必要があれば増刊する。論文受付締切日時は9月15日17:00とする。

### 6. 校正

PDF化された論文に対する著者による校正は、原則として1回のみとし、pdf-Adobe Readerの注釈機能を用いて行った後に、E-mailによって提出する。なお、その際には、字句の著しい変更、追加、削除などは認めない。この電子的対応ができない場合には、紙媒体に赤文字を用いて校正し、その後、再PDF化を図った後に、E-mailによって提出する。校正刷りは、所定の日までに必ず返却する。校正刷りが指定された期日に返却されない時には校正が無効となることもある。校正が不要の場合は、その旨を表紙上段に記入する。

### 7. 掲載料

掲載料は7ページまでを無料とする。ただし、7ページを超過したもの、カラー写真などに係わる費用は、著者負担とする。なお、雑誌編集委員会からの依頼による論文は、その対象から除く。別刷りに係わる費用は、著者負担とする。J-STAGE 登載用データ作成代は、無料とする。

### 8. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権、Copyright）は、日本歯科大学東京短期大学に帰属するものとする。

## 9. その他

この規程にない事項は、別に雑誌編集委員会で決定する。

### 附則

1. 本規程は第7巻1号から一部改正し施行する。
2. 本規程は第9巻1号から一部改正し施行する。  
投稿にあたっては「投稿規程」のほか、「投稿の手引き」に準拠すること。